



中堅学年になるにあたって

みなさんは2年生に進級し、今年はいよいよ中堅学年として国分高校を引っ張っていくこととなります。部活、生徒会活動、学習活動で大きな成果が挙げられるように、この1年精進してほしいと思います。

さて、2年生は進路実現にとって最も大事な時期になってきます。文理に別れて授業が実施されますが、直接大学入試に係わる教科も増えてきますし、授業の内容も1年生に比べより高度になり、スピードも速くなります。今まで以上に気合いを入れて学習に臨み、学力をつけていくことが必要です。

また、3年生の受験に向けて志望校を具体的に定めていくことが大切です。人は、目標がないとなかなか物事に身が入らず努力を続けることが難しくなります。しっかりとした目標が定まることで努力を続けることができます。

受験も同じで「この大学に絶対に入りたいという強い気持ち」があれば学習にも熱が入ります。その場合、さまざまな進路先を調べながら、今の学力で合格できるところを選ぶのではなく、自分の学力よりも1ランク上の学校を目指した方が、学力がついていきます。是非、高い進路目標を定めて、この1年頑張してほしいと思います。

2年生はなぜ大事な時期なのか

下の表を見てみてください。

受験勉強を始めた時期毎の第一志望の合格率

始めた時期	合格率
高1・2学期	97%
高1・3学期	92%
高2・1学期	90%
高2・2学期	85%
高2・3学期	65%
高3・1学期	37%
高3・2学期	24%

この表は進研ゼミの高校調査データによるものです。これを見ると高2の2学期に大学受験を意識して受験勉強を本格的に始めた人の85%は合格していますが、それが高3の1学期になってしまうと37%となり、激減しているのがわかります。2年生の時期に本格的に受験勉強を始めることが合格率をあげることにつながります。そういった意味で2年生は将来の進路実現に向けてとても大事な時期になってくるのです。

ただ、受験勉強といっても志望する大学の過去問を解くものではありません。2年生段階の受験勉強とは自分の進路希望実現に向けて頑張ろうという意欲の下で、日々の授業の予習や復習、課題、小テストの勉強に誠実に取り組むことです。特に復習に力を注ぎ、各教科の基礎基本を確実に理解しておくこと、苦手科目を2年生の時期に克服しておくことは大事になってきます。

学習習慣の見直しを

みなさんは1年生の頃、どれくらい自宅学習に励んできたでしょうか。授業をただ受けるだけでは高校の学習内容は定着しないので自宅での復習の時間がとても大切になってきます。実際、国公立大学に合格した生徒の2年次の学習時間の平均を見てみると、1週間に23時間でした。ちなみに不合格だった生徒の2年次の宅習時間の1週間平均は20時間でしたので、そんなに差はありません。いずれにしろ1週間の宅習時間が20時間を切ることがないようにしてほしいと思います。また、携帯電話の使用時間は国公立大学合格者の半数の生徒が1日12分以内でした。目標達成のために自制心を働かせて自粛していることが伺えると思います。自宅での学習習慣を今年はしっかり確立してください。

(調査データはH28年卒業生)

令和2年 3月 卒業生 進学状況

令和2年度入試の主な合格状況は以下の通りでした。

	現役	既卒	合計
千葉大	1		1
広島大		1	1
熊本大	2	1	3
長崎大	2		2
鹿児島大学	1 1	2	1 3
その他の国公立	2 0	2	2 2
合計	3 6	6	4 2

その他、現役では、私立大学では241名(関西学院大, 関西外語大, 福岡大学等), 国公立短大15名(鹿児島県立短期大学14名 その他公立短大1名), 私立短大36名, 専修・各種学校60名(看護系を除く), 看護系は37名, 公務員(含自衛隊)13名が合格しています。なお詳しい進路先は後日, 本校のホームページにも掲載します。

＜当面の進路行事＞

4月13日(月) 三者面談開始(4/27まで)
18日(土) 土曜教室
5月 1日(金) 1学期中間考査時間割発表
13日(水) 1学期中間考査(15日まで)

詳しい年間行事や試験の実施計画は5月号に掲載する予定です。

保護者の皆様へ

～お様の進路実現のために～

2年生は、進路目標を自ら設定し、その実現に向けて本格的な努力を行っていく時期になります。お子様方の進路志望実現のために様々なサポートを進路指導部でもさせていただきたいと考えます。この通信「舞鶴」でも生徒向けに様々な進路情報を発信して参ります。原則、月初めに発行する予定ですので、本校の進路指導の状況がどうなっているかを御理解していただく意味でも毎回御一読いただければ有難いです。

2年生は一般的に中だるみの時期といわれます。学校生活への慣れも生じ、部活動や生徒会活動でも中心的な役割を担うようになるため、つつい日々の学習も疎かになりがちです。しかし、この時期の中だるみは、希望するところへの進路実現にとって致命的になります。保護者の皆様にはあらためてお子様が高校生としての生活習慣を身につけているかの確認をしていただき、御家庭で毎日決まった時間に机に向かい、明日の授業の予習や復習、小テストの勉強等ができるような環境作りをお願いしたいと思います。

特に最近、LINE やゲームなどに熱中したり、スマホをいじりながら勉強したりして、十分な学習が行えないケースが見うけられます。本校は夜9時以降の携帯電話・スマホの使用の自粛を呼びかけていますが、御家庭でもその時間帯以降は携帯・スマホを保護者が預かるなどルールを決めて、節度ある使用をお願いいたします。

